

**平成28年度
総合型文化クラブ
モデル事業
報告書**

I 事業計画

1 目的

子どもの頃から文化芸術に触れ親しむ機会を設けることにより、子どもたちの豊かな心と感性を育むとともに、地域への愛着と誇りの醸成を図ることを目的とする。

II 事業内容

1 概要

文化会館、公民館、放課後児童クラブ等において、放課後等を活用し、希望する児童・生徒が様々な文化芸術を体験・実感できる「総合型文化クラブ（以下、「クラブ」という。）」を創設・試行し、モデルを確立する。

2 モデル地域の選定

県内市部2ヵ所（鶴岡市、新庄市）、町村部1ヵ所（山辺町）の計3ヶ所を選定し、実施する。

3 実施分野

伝統芸能、絵画、書道、茶道、華道、演劇、文芸、写真、食文化等からモデル地域の実情に合わせて実施する。

4 会場

モデル地域内の文化会館、公民館、学童クラブ等を活用する。

5 講師派遣

モデル地域の芸術文化団体に所属している方を中心に講師として派遣する。

6 実施期間

概ね7月から翌年2月まで。

7 実施頻度

1分野につき月1回以上実施する。

8 実施方法

モデル地域の市町村芸術文化協会に事業運営を委託し実施する。

Ⅲ 実施概要

モデル地域	実施分野	対象児童	実施回数	延べ 参加人数
鶴岡市	詩吟、文化箏、茶道、民話、琵琶、ちぎり絵、クラシックギター	放課後子供教室利用者	47	725
新庄市	伝統芸能、華道、伝統玩具、伝統食、絵画、茶道	学童利用者	43	837
山辺町	文化体験（礼儀作法、花笠）、尺八、和太鼓	学童利用者	6	123

IV モデル地域実施状況

1 鶴岡市

(1) 実施内容

①目的

子どもたちが地域の文化を知り、興味を持ち、実際に体験・参加する取組みにより、担い手として次世代への継承を目指し、地域への愛着と誇りの醸成を図る事を目的に、山形県が定める「文化による地域への愛着・誇り醸成事業」の平成 28 年度総合型文化クラブモデル事業 鶴岡市版として実施した。

②概要

鶴岡市放課後子ども教室を開催している地域の方々の協力を得て、子どもたちの学習や様々な体験・地域の方々との交流などの多様な活動等の取組の中に、総合型文化クラブモデル事業として、地域の芸術文化活動を組み込んで実施した。これにより、子どもたちとの世代間交流も含めて、芸術文化への関心が、より地域社会の中で心豊かに健やかに生まれ、地域への愛着・誇り醸成が実現できた。

○実施期日

平成 28 年 7 月 28 日～平成 29 年 2 月 27 日まで、
上郷は週 1 回程、大山・西郷は月 2～3 回、3 地域で検討実施した。

○場所

事業実施に協力できるモデル地域を 3 ヶ所選定した。

- ① 上郷地区放課後子ども教室、開催場所 上郷コミュニティセンター
- ② おおやま放課後子ども教室、開催場所 大山コミュニティセンター
- ③ 西郷地区放課後子ども教室、開催場所 西郷地区農林活性化センター

○参加人数

希望する児童 3 地域 合計 延べ 7 2 5 名

○実施内容

- ① 日本文化の代表的な和の世界を学ぶ
お茶・お箏・琵琶・大正琴教室
- ② 美術の粋を学ぶ
ちぎり絵教室

- ③ 地域の民話がたり教室
歴史物語りを体験する
- ④ その他
ギター演奏の鑑賞と合唱、楽器にふれる

上記のジャンルから協議して決定した。

○発表会

上郷地域においては、10月22日に上郷文化祭、1月29日に上郷地域住民のつどいでこれまでの活動の成果を発表した。

(2) 分野毎活動報告

①詩吟

ア 実施日

7月28日、8月18日、9月26日、10月3・17・22日、11月14・28日、
12月12日、1月16・29日、2月13・20日

イ 実施回数・延べ人数

13回 188人

ウ 実施会場

上郷コミュニティセンター

エ 対象児童

上郷地区放課後子ども教室に通う児童

オ 実施内容（活動内容、写真）

城下町文化として詩吟を通じた地域文化の掘り起こしと、精神文化の向上に貢献することを目標にしている講師の先生から発声の方法や吟詠のイロハを学びました。

荒澤和子講師が、上郷小学校長の時に纏めた、「上郷カルタ」上ごうを、知って愛して自慢する、ふるさとの宝 それを支える人たち 和む心と 明るい笑顔 を隔週毎に、皆で吟じました。

- ① だれにでも 元気なあいさつ 上ごう小
- ② きらきらと ほたる とびかう なつによる
- ③ やさわがわ きょうもきこえる 子らのこえ
- ④ 手をあわせ ごうかくきがん もんじゅさま
- ⑤ みなかみ八幡 かやぶきは くにのじゅうようぶんかざい
- ⑥ せせらぎの かがやくかわべに あゆはしる

- ⑦ 日本一 かつせい白土の みずさわ化学
- ⑧ ばいけい寺 夏の行事の ざせん会
- ⑨ べんけいが 由良からけた べんけい石
- ⑩ ライスセンター 上ごうのうかの しょうない米

また、本格的な吟詠は地域の佐藤謙講師から学びました。

ぐうせい しゅき
偶成 朱熹

少年易老学難成	(少年 老い易く 学 成り難し)
一寸光陰不可輕	(一寸の光陰 軽んず べからず)
未覚池塘春草夢	(未だ 覚めず 池塘 春草の夢)
階前梧葉巳秋声	(階前の 梧葉 巳に 秋声)



②文化箏

ア 実施日

8月1・8・22日、9月5・12日、10月3・17・22日、11月7・21日、
12月5・19日、1月23・29日、2月6・27日（上郷地域）

9月14日、10月26日、12月7日、2月8日、2月22日（大山地域）

イ 実施回数・延べ人数

16回 203人（上郷地域）

5回 52人（大山地域） 計21回 255人

ウ 実施会場

上郷コミュニティセンター、おおやまコミュニティセンター

エ 対象児童

上郷地区放課後子ども教室、おおやま放課後子ども教室に通う児童

オ 実施内容（活動内容、写真）

本格的な「お箏」を 半分にした 「文化箏」を活用したお箏教室です。音色も、本箏と同じで日本の邦楽を勉強するには手軽に伝統楽器を学習が出来、丁度良いサイズで、楽しんで弾くことができ、その音色は優しく、優雅な旋律として響き、弾く子ども達も、聞いている保護者の方々にも感動を与えてくれました。八幡佳子講師は、お箏は始まりと最後のあいさつが一番大事ですと教えてくれ、短期間の間に1曲、2曲と仕上げることは、限られた時間の使い方や、集中力の出させ方など学年の差があり、指導者にとっても大変な部分であったようです。子ども達は、それぞれ宿題や、仲間と遊びたいこと、やりたいことが沢山ある中で、箏の学習に取り組み、正座や礼儀、そして和楽器を弾くことなど、普段とは違う空気の中で、それぞれの思いを合わせて発表まで出来たことは素晴らしい活動だったと思います。



③茶道

ア 実施日

9月7日、11月2日、1月25日、2月22日（大山地域）

9月16日、10月12日、2月17日（西郷地域）

イ 実施回数・延べ人数

4回 52人（大山地域）

3回 75人（西郷地域） 計7回 127人

ウ 実施会場

おおやまコミュニティーセンター、西郷地域農林活性化センター

エ 対象児童

おおやま放課後こども教室、西郷地区放課後子ども教室に通う児童

オ 実施内容（活動内容、写真）

茶道教室、は裏千家流の長谷川玲子講師に指導していただきました。初めはどうなることやらと心配しましたが、子ども達が回を進むごとに、真剣に興味をもって茶道に取り組んでくれました。

まず正座が出来ません。生活環境が椅子の様式です。親世代も正座はままならずでしょう。懐紙・ふくさ・茶せん・茶杓の名を教えること。お菓子の戴きかた、お辞儀の仕方、お茶のいただき方など丁寧に指導しました。かた苦しきを感じつつも、子ども達はよく聞いて参加してくれました。少しでも大人の作法の入り口に入れたことを、ありがたく、将来何かの折に子ども達がお茶に接したことを思い出してほしいと思います。またお茶の指導を地域の方も手伝ってくれ、世代間の交流ができました。それにスタッフの方も季節に応じた菓子を用意してくれたり、心配りが子ども達と一緒に創れたことは、有難かったです。



④民話

ア 実施日

10月12日(水)西郷地域、2月1日(水)大山地域

イ 実施回数・延べ人数

2回 30人

ウ 実施会場

西郷地区農林活性化センター、大山コミュニティセンター

エ 対象児童

西郷地区・おおやま地区放課後子ども教室に通う児童

オ 実施内容(活動内容、写真)

西郷地域では6つの話を聞いてもらいました。

田川民話の会の、大瀧博子講師・高橋寿美講師・帯刀春男講師の方々です。

大山のめっけ犬・山伏トドときつね・豆助の鬼退治・カップ茶屋・魚のなまえ・きのこのお化けです。地域を題材にした民話なので、興味深く聞き入っていました。ただ、難しい言葉、普段使わない「囲炉裏・ゴドクなど」多くありましたが、顔つきはうなずいておりました。話が終ると子ども達から大きな拍手があり、聞く気になって聞いていたことが嬉しかったです。



⑤琵琶

ア 実施日

9月16日

イ 実施回数・延べ人数

1回 40人

ウ 実施会場

西郷地区農林活性化センター

エ 対象児童

西郷地区放課後子ども教室に通う児童

オ 実施内容（活動内容、写真）

本格的な琵琶語り（平家物語など）は子ども達にとって難しいので、地元のメッケ犬（大山祭）を題材に「薩摩琵琶」を使って、市川石水講師から演奏と語りを行っていただきました。日本伝統文化である古来の邦楽の音色とあいまって、琵琶の世界に魅せられていました。終了後に、子ども達が楽器に触り、重いなあとか、独特の音色に子ども達は興味深々でありました。



⑥ちぎり絵

ア 実施日

11月4日、1月27日

イ 実施回数・延べ人数

2回 60人

ウ 実施会場

西郷地域農林活性化センター

エ 対象児童

西郷地区放課後子ども教室に通う児童

オ 実施内容（活動内容、写真）

伝統の、ちぎり絵教室は小澤紀美講師を中心に指導していただきました。教材は、地域・季節・人数・学年等を考えて用意して頂きました。お手本を用意して、子ども達自身が和紙をちぎって作品を作る手法であったが、とても喜んで、一生懸命創ってくれて、講師の方々との交流も楽しい時間が過ごせました。



⑦ギター

ア 実施日

2月27日

イ 実施回数・延べ人数

1回 25人

ウ 実施会場

西郷地域農林活性化センター

エ 対象児童

西郷地区放課後子ども教室に通う児童

オ 実施内容（活動内容、写真）

最近なかなかアコースティックギターにふれる機会が少なくなってきましたが、グリーンギターフィールズの豊田瑞穂講師から、庄内各地で開催している、スクールコンサートのミニ演奏会としてやって頂きました。

鉄腕アトム・森のくまさん・どんぐりころころ・山の音楽家など、演奏を聞き、そして一緒に歌い、子ども達が一人ずつの演奏体験も出来ました。普段耳にする機会の少ない、ギターの生アンサンブルに「きれいな音」「息が合っていてすごい」などの感想が聞かれました。本物の楽器に触れ、演奏を聞くことで、芸術に親しむ貴重な機会になり、子ども達の心に残る演奏会でありました。



⑧発表会

○上郷地区文化祭



○上郷地域づくり住民のつどい



(3) 実施てみての感想・利用者の声等

(指導者)

- ・何にでもすぐに覚え、自分のものにしてしまう子どもたちの成長はすばらしいものがあった。
- ・子どもたちには勉強（宿題）もあり、仲間と遊びたいこと、やりたいことがいろいろある中で、箏の時間に取り組み、正座や、礼の仕方、楽器を弾くことなど普段とは違う空気感の中で、それぞれの思いを合わせて発表ができたことは素晴らしいと思った。
- ・一年生から六年生までが同じ「始めの一步」を共にすること、集中力に差があるので、指導する側でも勉強になった。一時間という時間は長いと思う。
- ・教材を地域・季節・人数・学年等考えて用意した。手本の見本を用意し、子どもたち自身が和紙をちぎって作品を作る手法であったが、感想を聞きたかったと思った。
- ・保護者の方もたくさんこられてて感心した。
- ・子どもたちが難しい詩吟に取り組んで積極的に吟じたことに驚いた。大変よく覚えるので、子どもたちの意欲に元気をもらった。
- ・子どもたちが回を進むごとに真剣に興味を以って茶道に取り組んでくれました。将来何かの折に子どもたちがお茶に接してくれたことを思い出してほしいと思う。
- ・茶道体験に携わった。子どもたちが飽きないように手際良くするためには、スタッフは3～4人は必要だと思った。

(子どもたち)

- ・僕は箏が楽しかったです。箏の先生にうまいと褒められたり、他の人に教えていたりしていたからです。
- ・僕は初めて茶道とお箏をしました。茶道は正座をしてしびれなかったのがよかったです。鬼のお話し怖かったけれど、最後のところがよかったです。
- ・お茶のとき自分でたてるときにどきどきしたけど、先生が教えてくれたのでしっかりできました。箏は初めはあまり音が出なかったけど、何回も弾くと音が出て上手に弾けてうれしかったです。